

あらぐさ

共立高等看護学院第34期生卒業式



卒業おめでとう

共立高等看護学院第34期生卒業式



(2015.3.6 本学講堂)

学院長あいさつ

34期生のみなさん、御家族の皆様、卒業おめでとございます。この日を迎えられる喜びは、またひとしおと御察いたします。御来賓の皆様にはお忙しい中ご臨席賜り、誠にありがとうございます。国家試験も終わり、今は大きな解放感を味わっていることでしょう。後は、朗報を待つだけです。

昨年40名でスタートした34期生は全員が最上級生として全校の手本となるべく管理実習、卒業研究発表、そして国家試験へとコツコツと着実に取り組みました。皆さんの頑張りに「お疲れさまでした」の言葉で労いたいと思います。

4月からは新たな道を歩み始めることになります。夢や希望でいっぱいのごでしょう。大きく成長して立派な看護師になれるよう期待しています。一年目は大変ですが吸収することも多く飛躍するチャンスです。がむしゃらに頑張り抜いて下さい。

今、日本は平和と民主主義の大きな危機を迎えています。皆さんは社会人としても共立高等看護学院で培った社会を見る広い視野と真実を見抜く鋭い眼でしっかり考え、社会参加されることを望みます。

共立高等看護学院卒業生としての誇りと自信をもって、これからの道を歩まれるようお願いしています。迷った時はあの教務室に駆け込みましょう。いつでも待っています。

以上簡単ではありますが第34期生卒業へのお祝いの言葉とします。おめでとうございます！

上嶋 准嗣



実習通じて成長を確信

担任 鈴木美緒

1年生は年明けからこれまで培ってきた解剖生理学、病理学などの知識を患者理解に活かす基礎Ⅱ実習に取り組み、緊張しながらも事前課題に誠実に取り組みました。実習では、初めて一人で一人の患者を受け持ち、患者の症状を調べ、患者の身体の中で起こっていることが解り、毎日実践している看護援助の根拠がわかる実習となりました。実習中は看護技術の実践に苦戦し、レポートに追われ寝る時間もほとんどありませんでした。これまで習得した知識や技術を総動員させ、仲間とも協力し合いながらなんとか実習を乗り越えることができました。その後の実習レポート発表では、同じ症状でも、原因疾患やその日の患者状況によって看護内容を変更する必要があること等、学びは多彩でした。自己の成長を確信し、一人一人の学びを全員で共有し、多くの質問で深め合い、看護師を目指す仲間同士が高めあつていきました。

36期生は、この1年間、本当に何事にも前向きに諦めず努力し、看護に向き合いました。1年次は初めての経験することの連続でした。一人一人の努力とクラスの仲間、ご家族の協力を得ながら、目の前の課題を確実に乗り越えながら春を迎えることができました。これからも大きな可能性を秘めている36期生の成長を見守っていききたいと考えています。



災害看護演習（校内）

2015. 3. 3

事象と病態アセスメントの発表会2015.3.10（1年



頑張りました！35期生

担任 中込英利香

35期生は、10月から2月まで4ヶ月の長期の臨地実習を終えました。内科や外科、小児、障がい児保育園、生命の誕生に立ち会う母性等、様々な場面で看護の在り方を学ぶことができました。ペア実習では意見が異なり、仲間との関係に悩むこともありましたが、グループメンバーで助け合いなが



校内与薬演習 2014.9.17（2年生）

ら実習を乗り越えたことで、これまで見ない仲間の一面を知る機会にもなりました。実習を終えた学生からは、「看護っていいな」「グループのみんながいたから頑張れた」という声が聞かれ、集団としても個としても実り多い実習になり、担任として嬉しく感じています。

実習後は後期期末試験に挑み、更に3年次の春に行われるケースレポート発表会の準備を整え、最終学年に備えました。1年次より高いハードルがいくつもあつた2年次ですが、この一年を乗り越えられたのは学生自身の努力と共に、ご家族の支えがあつたからこそだと感じております。

4月から3年生です。クラスの仲間と、ともに学び合い成長する姿勢を大事にしながら充実した3年次になることを期待しています。看護学生として一回り大きく成長した35期生1年間一緒に学べたことに感謝しています。ありがとうございました。

誰一人歩みを止めず協力し合った

担任 塩澤詩穂

12月の卒業研究発表会を終え、国試一色の約二ヵ月間を乗り切り、2月22日40名全員が第一〇四回看護師国家試験を受験出来ました。他の学年に比べ少しのんびりマイペースな34期生でしたが、2015年の年が明けてからは生まれ変わったように国試モードに。父母会を始め、卒業生や教員・後輩からも様々な応援メッセージを戴き、これから看護師や助産師や保健師になっていく3年生の夢を、こんなにも多くの人が全力で応援して下さっているということであらためて感じさせられました。

そして3月6日、国家試験の結果に不安を抱えつつも、多くのご来賓・ご父母の皆さまに見守られる中、第34期卒業式が挙行されました。多くの困難とそれにも負けない多くの学びを得てこの場に集い、卒業証書を受け取る姿は、とても堂々としており、それぞれの道へ進みだす決意と力強さを感じさせてくれました。これまで進路や学習や実習、人間関係にも大いに悩み、壁に突き当たり苦しい思いをしたことも少なくはなかったと思います。しかし34期生は誰一人歩みを止めず、自分が苦しい時にも他者を気遣い、相手の立場に立つて考え、協力し合いながら一歩一歩確実に困難を乗り越えてきました。悩んだりぶつかり合う中で培った、相手を気遣う気持ち、相手の立場に立つて考える、ことは、患者の立場に立つことの出来る看護師として欠かせないもので



社会福祉演習発表 2014.8.24 (3年生)

あり、34期生がもつ最大の強みであると思います。卒業式の誓いの言葉で言った通り、これから行く先には多くの困難が待っているでしょう。皆さんが羽ばたく臨床の場では、命と向き合い悩むことも、やりきれなさを感じることもあると思います。しかし、悩んだり困ったり足を止めたところになった時には、看護師という夢に向かって走り続けたこの学校生活と、多くを学ばせていただいた出会った患者さんのことを思い出してください。そして、皆さんの持つ個性を大切に、その先にある希望に向かって、一歩一歩確実に歩んで行って下さい。ゆっくりでも人とは違ったスピードでも、歩みを止めなければ、道は繋がって行くと信じています。そして、これから出会う患者さん、家族、チームメンバー、多職種などの一つ一つの出会いを大切に、これから先も看護観を深め、素直で優しい34期生らしく歩んで下さい。1年という短い期間でしたが、皆さんの傍で共に泣き笑い、同じ時間を共有し、皆さんの成長を見守ることが出来たことは本当に幸せでした。

これまで34期生の学びと成長を温かく見守り応援して下さいましたご家族、臨床の皆様方には深く感謝いたします。ありがとうございました。

教職員人事 2015年4月1日付

学院長 上嶋准嗣 ↓ 内藤恵一

教務主任 丸山陽子 ↓ 河西光子

上嶋准嗣

十一年間ありがとうございました。思い起こしますとあらためて多くの皆様方に支えられていることを痛感いたします。引き続き共立高等看護学院へのご支援をお願い申し上げます。



丸山陽子

自分の考えを投げかけると色々な考えが返ってきて成長



できる貴重な職場で長い間過ごすことができて幸せでした。人が本来持つ力を破綻し得る安心して自己表出できる環境を学生の皆さんに十分提供できたのか振り返っています。臨床に戻ってもこのことを大切にしたいと考えています。22年間ありがとうございました。

河西光子



これまでの実習調整担当では立場が変わり見えてくる世界がまた違うと思います。学生の皆さんの力になれるよう御家族の皆様とも近いところで本校の教育活動を進めていきます。全力で頑張ります。

『看護の基本となるもの』 ヴァージニア・ヘンダーソン著

湯楨・小玉訳 日本看護協会出版会 1961年 1,080円
 基本的看護を14項目に分類し人間の基本的欲求に影響を与える条件と関連付けている。看護学生時代に講義で学び、今でもこの考え方が私の看護に根付いている。特に看護独自の機能が、自力で基本的欲求を充足できない部分を援助することにあるというところは私の看護大切な軸となっている。看護学生の皆さんが、看護実践を導く理論を学ぶ時に必ず出会う著書の一つとなるであろう。

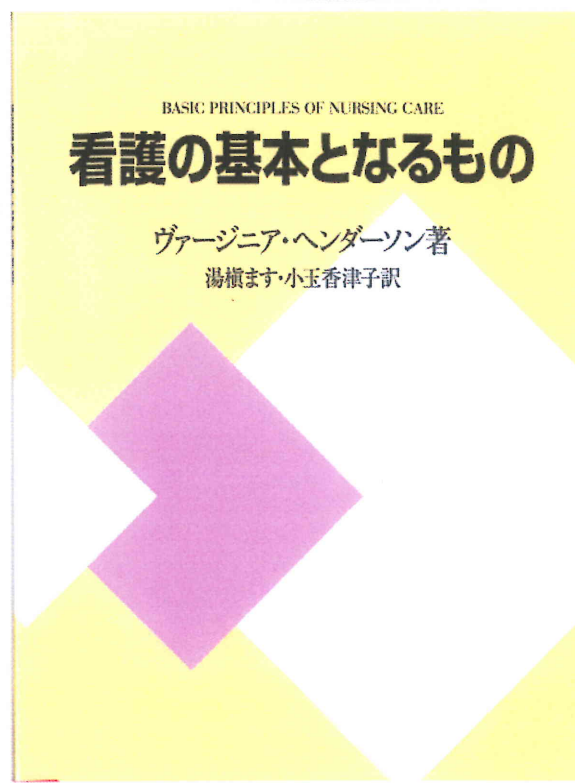
『JIN-仁-』 集英社 全20巻 村上もとか作



気負わず、勉強の合間に読めるヒューマン医療漫画。TVドラマにもなった本作を読むと、医学が進歩した現代だからこそ懸命に 庶民の立場であらゆる知恵を駆使して傷病に立ち向かう人の姿が心に響く知らないことが沢山あると改めて痛感し、初心に帰る思いがした。ペニシリンはこうしてつくられたのかと感動する。気負わずに読める。勉強の合間に一読するのもよいのでは。

私が奨めるこの一冊

(河西)



4月3日	新年度始業
4月6日	37期生入学式
4月7日	ケースレポート発表会
4月9日	奨学金説明会
5月 8日	球技大会
5月16日	雑草祭(学院祭)
5月18日	3年生実習
6月 2日	2年生労働体験(成人看護学演習)
6月 8日	2年生実習
7月 6日	1年生実習
7月18日	キャンプ(保健体育)
7月23日	父母の会2, 3年生部会・役員会

予定

看護師国家試験に関わる費用(クラス費)の徴収方法のお知らせ-35期生の皆様へ

納付日 ー1回目4月末日
 2回目7月末日

問い合わせ窓口事務課 水上・豊田
 055-228-7325

父母の会より

■経過・予定

2月10日 2年生に成人祝・実習激励図書券贈呈
 2月12日 3年生に国家試験勉強激励豚汁・カレー
 3月6日 3年生に卒業記念図書券贈呈
 2014 第2回役員会(総会議案等)
 4月6日 入学式 2015年度総会
 5月16日 雑草祭豚汁づくり

■2015年度総会

2015年4月6日(月)12時半共立高看4階図書室
 2014年度活動報告・決算報告

◇教職員参加の研究・研修活動◇

1月17日 山梨民医連学術・運動交流集会
 (発表雨宮, 梶原)
 2月 日 山看協助産師部会ラダー研修(河野)
 3月26日 山梨看護教育研究協議会FD研修
 (河西, 梶原, 鈴木, 塩澤, 中込)

編集後記

国家試験全員合格の記事は号外にしました。新学院長内藤恵一の挨拶は次号となります。4月に迎える43名の新入生を迎えます。(M)

あらぐさ

34期生40名**国家試験全員合格**しました！

ありがとうございました

共立高看34期生が看護師国家試験に全員合格しました。5年連続の全員合格です。見守り、支えていただいた全ての皆様、本当にありがとうございました。

(全国合格率：新卒者**95.5%**(大学+専門学校) 既卒者含む**90.0%**)

34期生のクラス目標は「日進月歩 MISSION FINAL 国試全員合格せよ」

25日合格発表の日は、この願いが見事に達成できた日になりました。

クラスみんなが合格ラインに到達するために、励まし教えあった結果の「**全員合格**」は、この上ない喜びです。

この日を迎えるために取り組んだ国家試験模試は16回、選択肢まで計算すれば1万問をはるかに超える問題数に挑みました。又例年以上に周囲からもたくさんの激励を受けました。

父母の会の皆様の手作り合格祈願カレー、豚汁…。先輩の卒業生や近所のファミマの店長さんは、お菓子を差し入れて下さいました。沢山の声援が、最終盤の不安な気持ちを自信に変える後押しをしてくれました。

応援して下さいました地域の皆様、多忙な業務の中授業を担当された講師の皆様、臨床実習場の職員の皆様、最後までバックアップして戴いた共立高看父母の会ははじめ、御家族の皆様等、34期生をとりまく数多くの方々の力と34期生の努力の集大成の日となりました。この場をお借りし、あらためて感謝し厚くお礼を申し上げます。

8割の卒業生が山梨県内に就職します。未来の地域医療を担い、看護を創り出す40名です。地域の皆様の健康を守る担い手として、「患者の立場に立つ看護」の実践者とし更に成長できるよう引き続き御支援、をお願い致します。 教職員一同





父母の会手作り豚汁、教職員による「受ツカレー」、武田神社、壮行会、国試出発、厚労省HPで合否確認、ダルマに両目

